

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	505T	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：505T**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

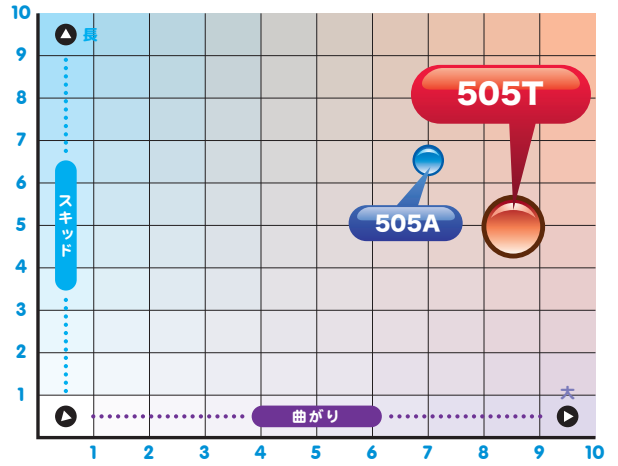
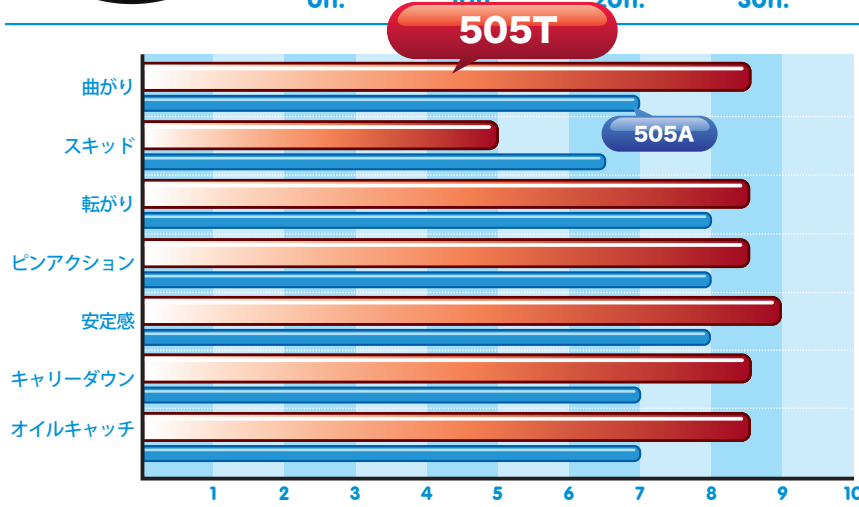
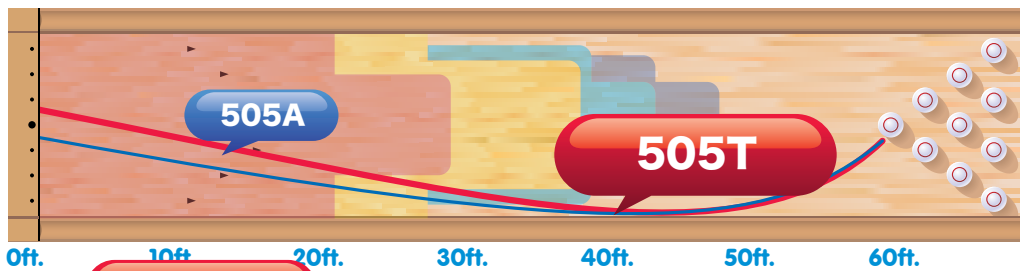
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：505A**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

ビックセールスを遂げた”5”シリーズ。505Aは走りの中にもメリハリのある”A”の性能が特に女性の方に好まれ、505Cは”C”の扱いやすい安定感のなるオールマイティーな性能で、今尚再入荷を繰り返すロングセールスとなっています。今回のこの505Tは待望の5シリーズ第3弾であり、手前からリアクションを起こす”Traction”タイプです。

5シリーズで”T”(Traction)の性能を発揮させる為には”5”の領域で使用出来る一番強いカバーストックを纏わせる必要があり、適正コンディションも今までとは違い、ミディアム～ミディアムヘビーコンディションが主な使用領域となるでしょう。私がこのボールを投球し一番印象に残ったのは、手前からの強いキャッチ力でした。手前から強くトラクションの効く感じは”5”シリーズとは思えないほどオイルキャッチに優れており、”T”というコンセプトを前面に押し出し協調しています。トラック社のテクノロジーに関心するのは手前のトラクションを強調させながらもしっかりと奥までの動きを確保していること。「強調させる部分を明確にし、トータルバランスを取る」このテクノロジーがナンバーで表記した個々のパフォーマンスの差を支える根本であり、日本でも多くの方にこのシステムが受け入れられたのだと思います。

残念なことに、今まで非常に定評があるシャトルコアを今回もこの505Tの心臓部として搭載しましたが、今回が最後の製品となります。”5”のカバーストックの強さであってもこれだけのトラクションを出すことのできる、トラック社の技術の高さを実感できるでしょう。最後のシャトルコア、”T”の性能505Tをその手でお試ください。

### 特記事項

**MP GEN 4カバーストックと最後のシャトルコアとの組み合わせによる505T。ミディアム～ミディアムヘビーコンディションが対応領域で、発売前からかなりのオーダーが見込まれます。オーダーはお早めに！**